

## ご使用の前に必ずお読みください

- 本機の入力規格を超えた電圧や電流は絶対に入力しないでください。
- 正しい接続を行ってください。接続を間違えますと機器にダメージを与えることがあります。
- 本機の上にモニターなど、重いものを置いて使用しないでください。誤動作の原因になります。
- 本機は湿気を嫌います。本体上面に水気のあるものなどは置かないようご注意ください。
- 本機はファンレスタイプです。室温が 40℃以上になる場所での連続使用は絶対にお止めください。
- 本機を密閉した状態で使用しないでください。放熱効果が遮断されるため故障の原因となります。
- 化学薬品や洗剤を使用した清掃は機器を痛める場合があります。
- 高電圧や電磁波を発生している装置(エアコンの室外機、モーター、コンプレッサー、携帯電話など)の近くでは使用しないでください。映像の乱れなどの影響を及ぼす場合があります。
- 不当な修理や改造は絶対にお止めください。発熱・発火・感電・けがなどの原因となります。
- ハードディスク(HDD)は精密機器ですので取扱いにご注意ください。本機に振動や衝撃を与えたり、動作中に電源コードを抜いたりすると、録画内容が失われたり、録画・再生ができなくなることがあります。

## 目次

1. 特徴	3
2. セット内容	3
3. 各部の説明	4
4. 接続例	6
5. メニュー画面の設定と操作方法	7
カメラ設定(カラー設定・境界線点滅設定・時間表示設定)	9
録画設定	10
動体検知設定	14
ネットワーク設定	15
履歴検索	17
時間設定	21
ハードディスク管理(自動上書き・ハードディスク初期化)	21
画面表示設定(シーケンシャル設定・ビデオボーダー表示・VGAモニター解像度)	23
システム情報表示・パスワード設定	25
言語設定	27
システムメンテナンス(自動再起動設定・メニュー設定の初期化)	28
クイックメニュー(PIP 画面設定・再生検索)	31
6. 基本操作(録画・再生)	
6-1 全画面表示	35
6-2 録画	35
6-3 再生	36
6-4 画面自動切替え(シーケンシャル)機能	38
6-5 デジタルズーム機能	38
7. 画面表示の説明	39
8. 録画データのバックアップ(保存)	40
9. パソコンでの録画データの再生	
9-1 ソフトウェアのインストールとUSBメモリーの接続	42
9-2 ソフトウェアの操作	44
10. スマートフォン監視	48
11. 録画時間の目安表	49
12. 製品仕様	50

## 1 特徴

- 2.5インチのハードディスクを採用した小型モデル
- 3インチモニターを搭載 (モニター搭載モデルのみ)
- 録画方式H.264を採用し、高画質を実現
- カメラ4台までの接続が可能な画面4分割機能搭載でフレーム再生も可能
- 動体検知機能内蔵で、画面に動きがあったときだけの録画が可能
- 録画データをUSBメモリーへ保存し、専用再生ソフトにてパソコンでの再生が可能(OS:WindowsXP以上)
- 簡単検索再生:日時を指定しての再生または、カレンダー・録画履歴から再生が可能
- 3段階の録画解像度設定と5段階の録画面質設定が可能
- 録画フレーム数をカメラ1台あたり、2~30フレーム/秒に設定可能
- ネットワーク対応(スマートフォン対応) ●プリレコーディング機能
- 録画中のメニュー操作・再生が可能 ●PIP画面表示 ●VGA出力端子
- 自動上書録画機能 ●スケジュール録画機能 ●画面自動切替え(シーケンシャル)機能
- 日時表示機能 ●カメラタイトル表示 ●メニュー画面日本語表示

## 2 セット内容

本体



BNCP-RCAJコネクター



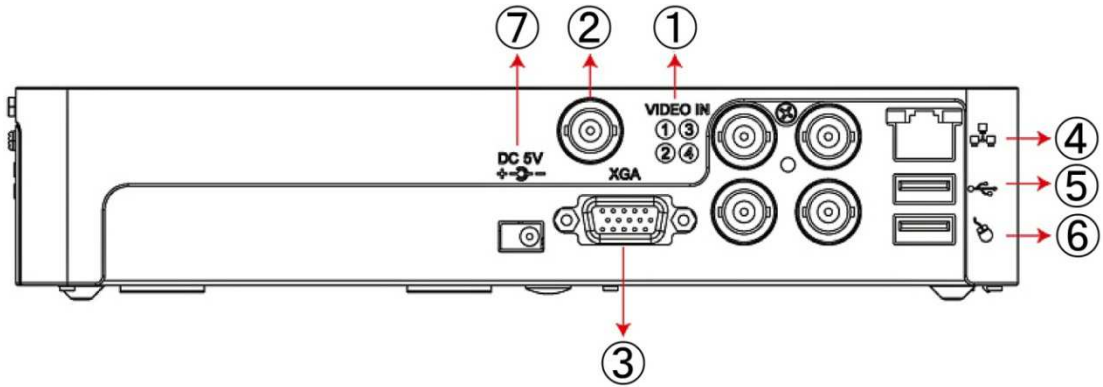
リモコン



ACアダプター

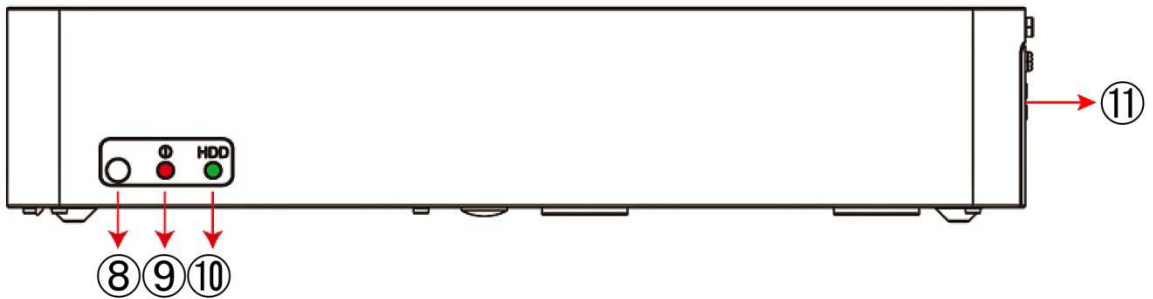
### 3 各部の説明

#### ◆背面パネル◆



①映像入力端子 VIDEO IN①～④	●チャンネル 1～4 の映像入力端子 カメラの映像出力端子と配線 (BNC.J 端子)
②映像出力端子 VIDEO OUT	●モニターの映像入力端子へ接続 (BNC.J 端子)
③映像出力端子 XGA	●モニターの VGA 映像入力端子へ接続
④LAN ポート	●ネットワーク用の LAN ケーブルを接続
⑤バックアップ用 USB ポート	●USB メモリーを接続するための USB 端子
⑥マウス用 USB ポート	●マウスを接続するための USB 端子
⑦電源入力端子 DC5V	●付属の AC アダプターを接続

#### ◆前面パネル◆



⑧リモコン受光部	●リモコンの信号受光部
⑨電源ランプ (赤) ①	●電源入力時に点灯
⑩HDD ランプ (緑) HDD	●録画・再生時に点滅
⑪HDD 取出口	●ハードディスクの取出口



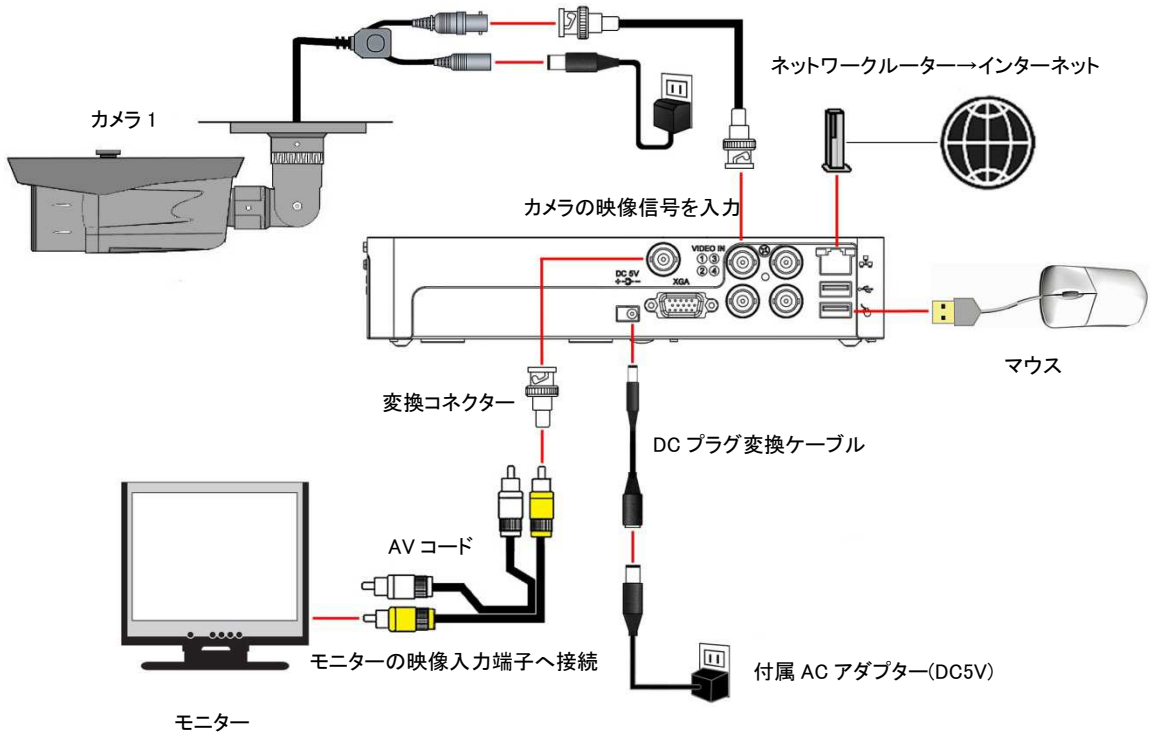
◆リモコン◆



※高速再生ボタンの 2 回早押しで、メニュー画面表示出力の強制切り替え (VIDEO OUT ⇄ XGA) が可能 (23 ページ参照)

## 4 接続例

接続する前に全ての機器の電源を切ってください。



全ての機器接続後に AC アダプターをコンセントに差し込み、電源を入れてください。

電源の AC アダプターは、必ず付属のものをご使用ください。カメラ用の AC アダプターを接続した場合は故障の原因となりますので、ご注意ください。

AV コードの白側は、音声用なので使用しません。

XGA 端子に VGA モニターを接続する場合は、電源起動時に自動認識され、OSD のメニュー画面が VGA モニターに表示されます。(自動認識では、VGA モニターが優先されます。)

VGA モニターが自動認識できない場合は、メニュー設定にて、モニターのメニュー表示を切り替えてください。(23 ページ参照)

VGA モニターにメニュー画面が表示されている場合は、内蔵モニターにはメニュー画面が表示されません。

モニターのメニュー表示の切り替えは、リモコンの高速再生ボタン 2 回早押しでも可能です。

## 5 メニュー画面の設定と操作方法

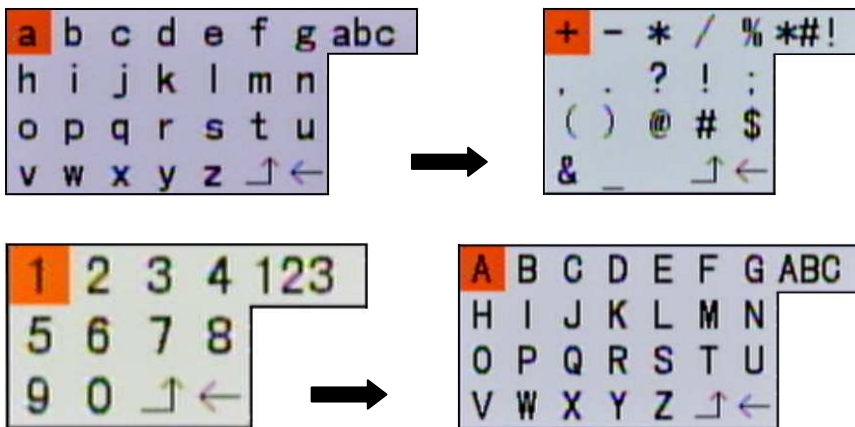
接続が済みましたら、ご使用前にモニターに表示されるメニュー画面で各種設定をする必要があります。正確な設定を行うことにより目的の録画が可能となります。

### ■メニュー画面でのマウス操作■

設定項目の移動	カーソル移動
設定項目の決定・選択・入力	左クリック
メニュー画面の終了・リターン	右クリック

### ■バーチャルキーボードの入力方法■

バーチャルキーボードでは数字入力と文字入力をします。



	リモコン操作	マウス操作
バーチャルキーボードを表示	決定ボタン	左クリック
文字・記号・数字の選択	上下左右ボタン	カーソル移動
選択した数字・文字の入力	決定ボタン	左クリック
バーチャルキーボードの終了	メニューボタン	バーチャルキーボード選択エリア外を左クリック

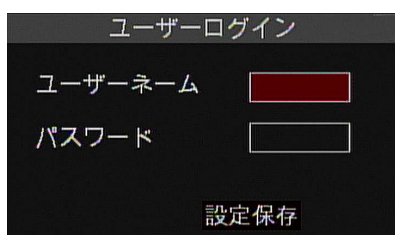
←	入力した前の数字・文字を削除
abc /*#! /123/ABC	バーチャルキーボードの切替え 小文字英字/記号/数字/大文字英字
↑	入力の保存・終了

メニューボタンを押すとメインメニュー画面が表示されます。

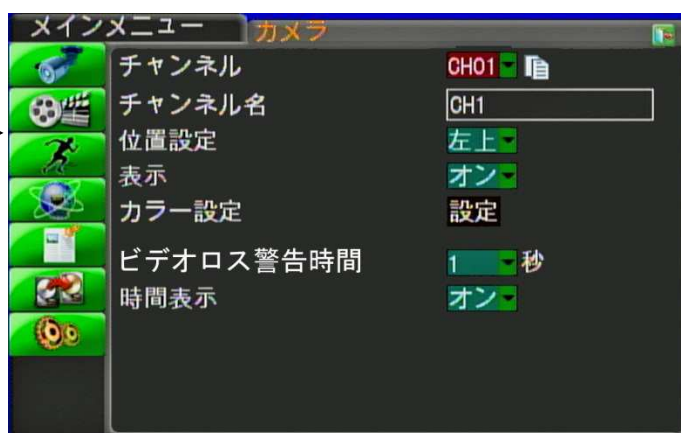
マウス操作の場合は、右クリックからクイックメニューの『メインメニュー』を選択します。










メインメニュー




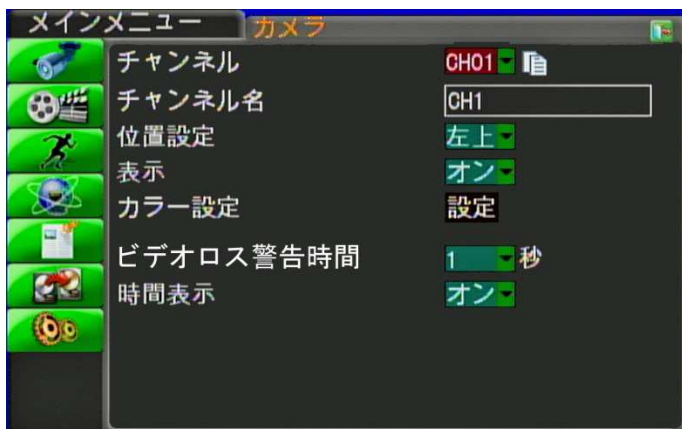
パスワードを設定している場合はログイン画面が表示されますので設定している【ユーザーネーム】と【パスワード】を入力し『設定保存』を選択します。(26 ページ参照)




 カメラ	カメラタイトル・画質調整・PTZ カメラ・境界線点滅時間・時刻表示設定
 録画設定	録画条件の設定
 動体検知	動体検知録画条件の設定
 ネットワーク	ネットワーク遠隔監視の設定
 履歴検索	システムログの履歴検索とバックアップ
 バックアップ	録画履歴の検索とバックアップ
 システム設定	時間・HDD・画面表示・パスワード・言語・音声・初期化の設定

## 5-1 カメラ設定

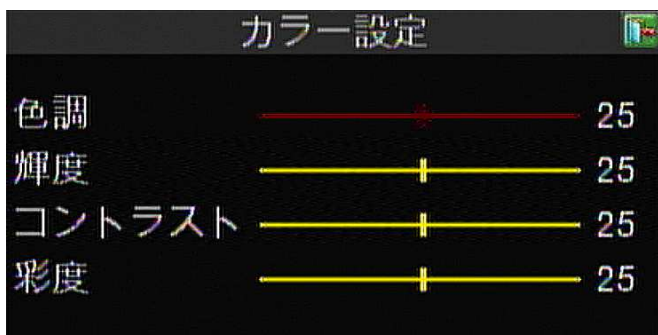
カメラのタイトル・画質調整・PTZカメラ・境界線点滅時間・時刻の画面表示の設定をします。  
メインメニュー画面で『カメラ 』を選択すると、カメラ設定画面が表示されます。




チャンネル	チャンネル 1~4 を選択します。  をクリックすると、全てのチャンネルに設定がコピーされます。
チャンネル名	カメラのタイトルを 16 文字以内で設定できます。
位置設定	チャンネル名の表示位置を左上/右下/右上/右下/オフより選択します。
表示	カメラの映像表示のオン/オフをチャンネル毎に設定します。
カラー設定	映像の色調・輝度・コントラスト・彩度をチャンネル毎に設定します。
ビデオロス警告時間	ビデオロス時の境界線が赤く点滅する時間を 1/5/10/15 秒より選択します。
時間表示	ライブ映像画面に時刻表示を【オン:表示する】【オフ:表示しない】を設定します。

### ■カラー設定■

『設定』を選択すると、カラー設定画面が表示されます。




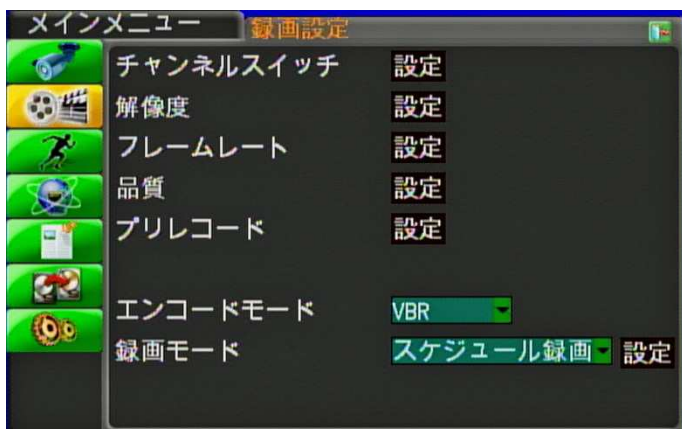
映像を確認しながら、色調・輝度・コントラスト・彩度を 0~50 で調整します。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

## 5-2 録画設定

録画の条件を設定します。

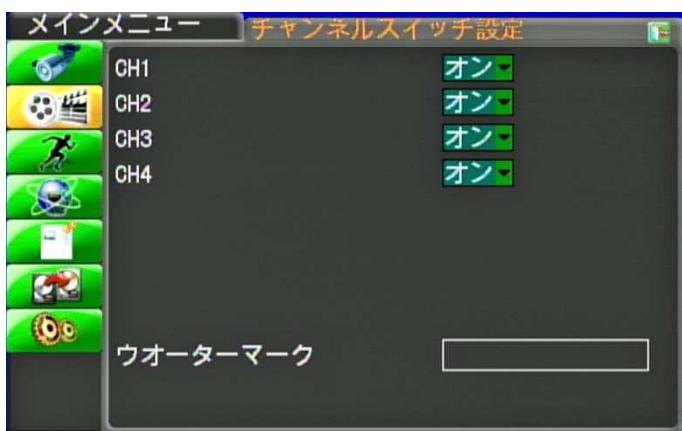
メインメニュー画面で『録画設定 』を選択して録画設定画面を表示させます。



### ■チャンネルスイッチ設定■

チャンネル毎に録画の有効/無効を設定します。

『設定』を選択すると、チャンネルスイッチ設定画面が表示されます。




【オフ】に設定すると、録画が無効となります。

録画をしないチャンネルまたは、カメラを接続していないチャンネルは【オフ】に設定してください。

ウォーターマークの設定ができます。

ウォーターマークとは、録画データの内容を改ざんされないための保全方法です。

録画データに文字を入れ込むことで、バックアップデータをパソコンで再生する際に設定した文字を表示することができます。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。


## ■解像度設定■

チャンネル毎に録画解像度の設定をします。

『設定』を選択すると、解像度設定画面が表示されます。



720 × 480/720 × 240/360 × 240 より選択します。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

## ■フレーム数設定■

チャンネル毎に録画フレームレート(録画速度)を設定します。

『設定』を選択すると、フレーム数設定画面が表示されます。



動画は、通常 30fps です。30fps とは、1 秒間に 30 枚のフレーム数で録画するということです。

この数値が高いほど自然な再生速度になります。


数値が低くなるとコマ送り状態になりますが、ハードディスクの使用量を節約することができ、録画時間が長くなります。

設定した解像度により、設定できる録画フレームレートが異なります。



全チャンネルの解像度	設定できる全チャンネルの録画フレームレートの合計
720 × 480	60fps
720 × 240	120fps
360 × 240	240fps

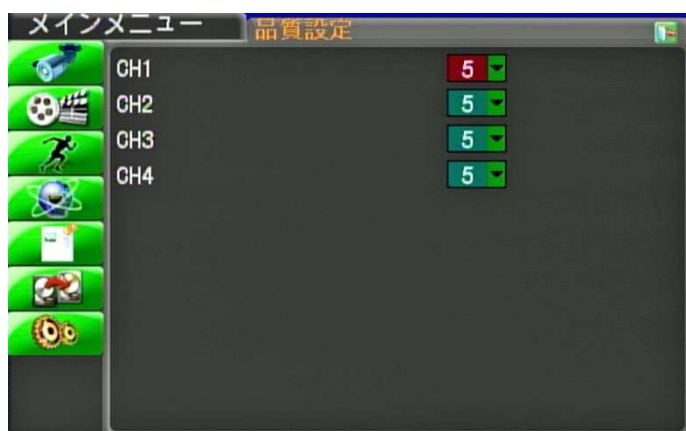
使用しないチャンネルは、フレームレートを【0】に設定してください。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

### ■ 品質設定 ■


チャンネル毎に録画の画質を設定します。

『設定』を選択すると、品質設定画面が表示されます。



録画の画質を 5(最高)～1(最低)より選択します。

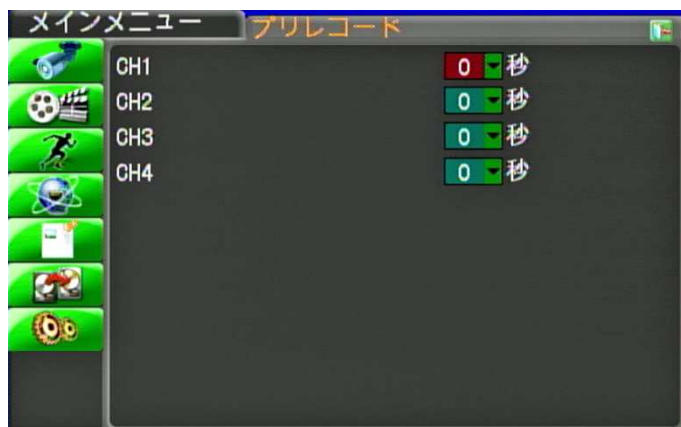
設定した画質が低いほどハードディスクの使用量を節約でき、長時間の録画が可能になります。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

### ■ プリレコード ■


動体を検知した数秒前から録画することができます。

『設定』を選択すると、プリレコード設定画面が表示されます。





チャンネル毎にプリレコードの時間を 2/4/6 秒より選択します。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

### ■エンコードモード■

ビットレートの圧縮方法を設定します。

圧縮方法を VBR(可変)または、CBR(固定)で設定します。

映像を重視するなら【VBR】、音声を重視するなら【CBR】に設定します。

### ■録画モード■

録画のモードを設定します。

【連続録画】に設定すると、全てのチャンネルを連続で録画します。(手動での録画停止ができません。)


【スケジュール録画】選んで『設定』を選択すると、スケジュール録画設定画面が表示されます。




スケジュール録画を設定するチャンネルを【CH1】～【CH4】より選択します。

設定する録画モード(赤:アラーム録画/緑:通常(連続)録画/青:録画しない)へ移動してチェック✓を入れます。


次に曜日・時間へ移動して録画モードを設定します。数字は 0～23 時を表しています。

設定した曜日の内容をコピーする場合は、画面下の【から○曜日(設定した曜日)】と【まで○曜日(コピー先の曜日)】を設定して  を選択します。

“コピー完成！”と表示され、設定した曜日の内容が、コピー先の曜日へコピーされます。


表示しているチャンネルの設定を全てのチャンネルにコピーする場合は、画面左上の  を選択します。

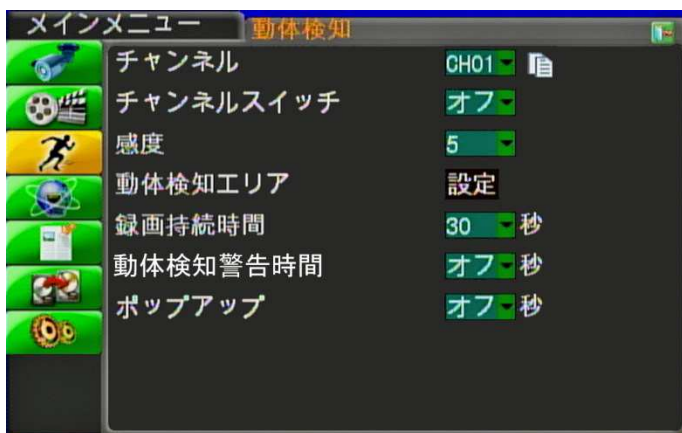
“コピー完成！”と表示され、表示しているチャンネルの設定が全てのチャンネルにコピーされます。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

### 5-3 動体検知

動体検知の感度とエリアの設定をします。

メインメニュー画面で『動体検知 』を選択して動体検知設定画面を表示させます。



チャンネル	設定するチャンネルを【CH1】～【CH4】より選択します。
チャンネルスイッチ	動体検知の【オン】/【オフ】を設定します。
感度	検知感度を1(弱)～10(強)より選択します。
動体検知エリア	動体検知エリアを設定します。
録画持続時間	動体検知録画の録画時間を10～60秒より選択します。
動体検知警告時間	動体検知時に画面上の境界線を赤く点滅させることができます。 オフ/1/5/10/15/20/30秒より選択します。
ポップアップ	動体を検知したチャンネルをポップアップ(全画面表示)する時間を設定します。 オフ/1/5/10/15/20/30秒より選択します。

動体検知エリアの設定をする場合は、『設定』を選択します。


動体検知エリア設定画面に切り替ります。



緑色の範囲が設定されている動体検知エリアで、1つの赤い升目がカーソルです。


動体検知エリアを設定する升目に移動して選択をすると、升目が緑色に変わります。

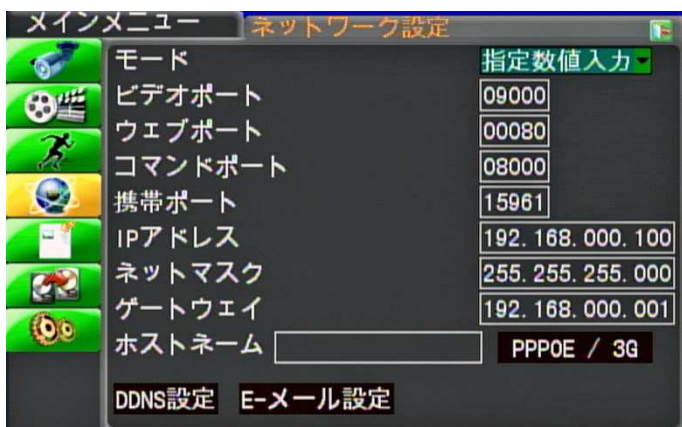
設定を解除する場合は、緑色の升目を再度選択します。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

## 5-4 ネットワーク設定

ネットワーク遠隔監視関連の設定をします。

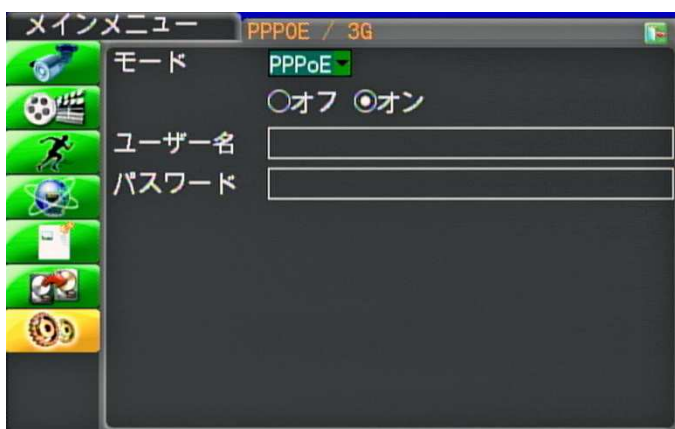
メインメニュー画面で『ネットワーク設定 』を選択すると、ネットワーク設定画面が表示されます。




モード	ネットワーク接続方式を【指定数値入力(STATIC)/DHCP】より選択します。
ビデオポート	ビデオポートを設定します。
ウェブポート	本機へ HTTP を使用してアクセスするときのポート番号を入力します。
コマンドポート	コマンドポートを設定します。
携帯ポート	携帯電話用のポートを設定します。
IP アドレス	本機に割り当てるプライベートIPアドレス(ルーター等の環境に応じて設定)
ネットマスク	ネットワークの環境に応じて設定(ルーターの設定画面から確認可能)
ゲートウェイ	使用するルーターのIPアドレスを入力します。
ホストネーム	DDNS を使用する場合のホスト名を入力します。

### ■ PPPoE/3G ■

PPPoE を使用する場合は、『PPPoE/3G』を選択し、設定画面を表示させます。



【オン】に設定して、ユーザー名とパスワードを入力します。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。


※3Gには対応していません。

## ■ DDNS 設定 ■

ダイナミック DNS 機能を使用する場合は、『DDNS 設定』を選択します。  
DDNS 設定画面が表示されますので、DDNS を【オン】に設定します。



DNS1	プロバイダーから指定された DNS サーバーのアドレスを入力します。
DNS2	プロバイダーから指定された DNS サーバーのアドレスを入力します。
サーバー	登録したダイナミック DNS サーバーを選択します。
FQDN	ダイナミック DNS サービスで登録したホスト名とドメイン名を入力します。
ユーザーネーム	ダイナミック DNS サーバーへ登録したユーザー名またはメールアドレスを入力します。
パスワード	ダイナミック DNS サーバーへ登録したパスワードを入力します。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

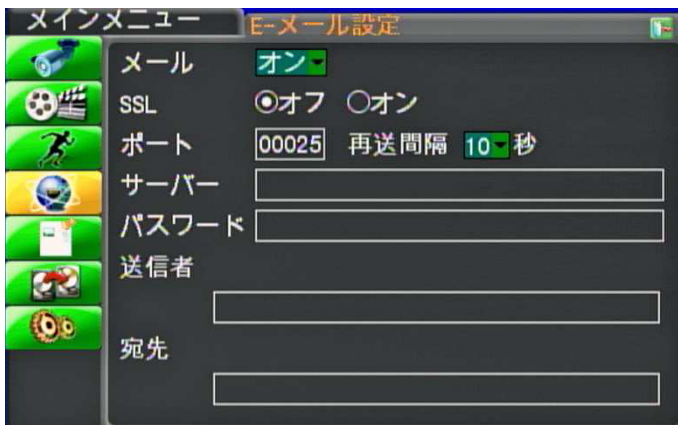
## ■ E-メール設定 ■

アラーム検出 (HDD エラー・ビデオロス・動体検知) 時に E メール送信することができます。


※メールサーバーにリレー機能が無い場合は、E メールが送信されませんので、事前にご確認ください。

『E-メール設定』を選択すると、E メール設定画面が表示されます。

はじめに『オン』を選択します。




SSL	SSL 暗号化の設定をします。
ポート	E メール送信元の SMTP サーバーのポート番号を入力します。
再送間隔	連続でアラームを検出している場合の Eメールの送信間隔を 10/30/60 秒より選択します。
サーバー	Eメール送信元の SMTP サーバーアドレスを入力します。
パスワード	Eメール送信元の SMTP パスワードを入力します。
送信者	Eメール送信元のメールアドレスを入力します。
宛先	Eメール送信先のメールアドレスを入力します。

設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックでメインメニュー画面まで戻ります。

## 5-5 履歴検索

アラーム検出履歴と設定変更ポイントを検索します。

メインメニュー画面で『履歴検索 』を選択すると、履歴検索画面が表示されます。



表示させる履歴のタイプを『全部』・『アラーム』・『設定変更』・『動体検知』・『ビデオロス』から選択します。






次に検索する期間を【開始時間】～【終了時間】で設定します。


『履歴検索』を選択すると、履歴が表示されます。






タイプ	履歴のタイプを表示(アラーム検出またはメニュー設定変更)
情報	アラーム検出の種類と設定変更・起動などの情報を表示
発生時間	アラーム検出とメニュー設定が変更された日時を表示
事件録画	アラーム録画の動作表示(はい:録画データあり)

	録画履歴の最初のページを表示します。
	録画履歴の最後のページを表示します。
	前のページへ移動します。
	次のページへ移動します。
	検索した履歴をテキストファイルとして USB メモリーへ保存します。

事件録画が『はい』のアラーム履歴を選択すると、選択したアラーム録画履歴の再生を開始します。検索が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックでメインメニュー画面まで戻ります。

## 5-6 バックアップ

録画履歴からの再生と録画データのバックアップをします。

メインメニュー画面で『バックアップ 』を選択すると、バックアップ画面が表示されます。



チャンネル	録画履歴を表示させるチャンネルを選択します。
録画方式	録画履歴を表示させる録画方式を【全部/通常/アラーム】より選択します。
開始日	録画履歴を表示させる開始日を入力します。
開始時間	録画履歴を表示させる開始日の開始時刻を入力します。
終了日	録画履歴を表示させる終了日を入力します。
終了時間	録画履歴を表示させる終了日の終了時刻を入力します。

※開始日から終了日の期間を7日以内で設定してください。

『履歴検索』を選択すると、録画履歴が表示されます。



	録画履歴の最初のページを表示します。
	録画履歴の最後のページを表示します。
	前のページへ移動します。
	次のページへ移動します。
	全てのファイルの選択と解除
	指定したファイルをバックアップします。

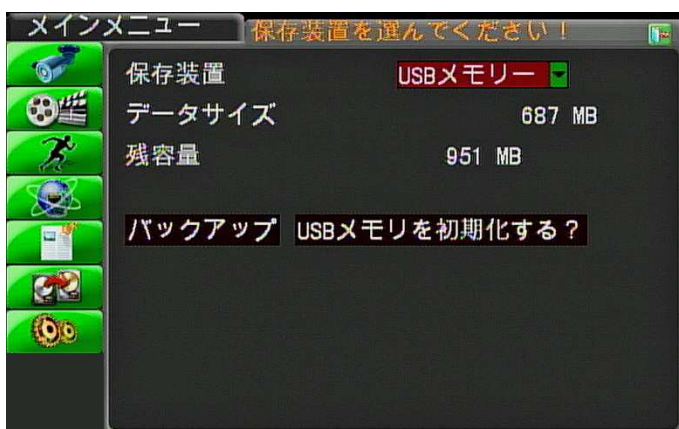
表示した録画履歴から録画ファイルを選択すると、選択した録画ファイルの再生が可能です。

録画データを USB メモリーへ録画ファイル毎にバックアップします。

最初にバックアップする録画ファイルの BAK の口チェック✓を入れます。

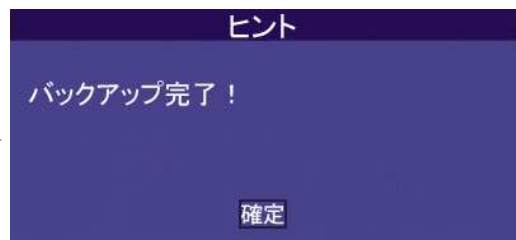
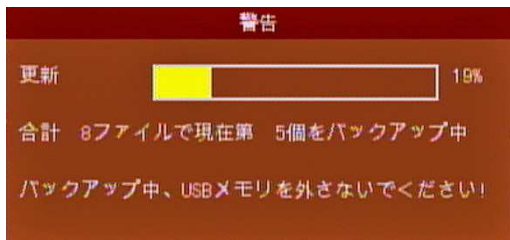
を選択すると、全ての録画ファイルにチェック✓が入ります。

を選択すると、バックアップ開始画面が表示されます。



保存装置	保存先を USB メモリーに設定 (DVD-RW には非対応)
データサイズ	保存する録画データの容量を表示
残容量	保存先の保存可能な残容量を表示

『バックアップ』を選択すると、録画データの保存を開始します。




バックアップが完了したら、『確定』を選択します。

USB メモリーを初期化して使用する場合は、『USB メモリーを初期化する?』を選択します。

警告画面が表示されますので、『確定』を選択します。




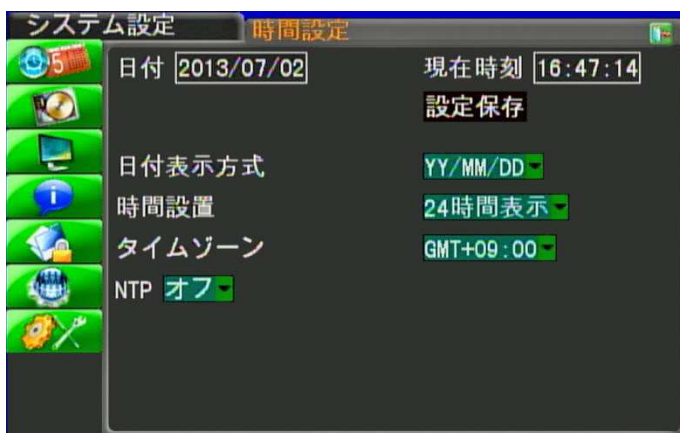
USB メモリーの初期化が完了したら、『確定』を選択します。




全ての操作が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

## 5-7 システム設定





時間・ハードディスク・画面表示・パスワード・言語・音声・初期化などの設定をします。

メインメニュー画面で『システム設定 』を選択してシステム設定画面を表示させます。




 時間設定	日時の設定
 ハードディスク管理	ハードディスク・USB メモリーの設定・初期化
 表示設定	画面表示設定 (GUI 表示切り替え・シーケンシャル・分割線表示)



	システム情報	ファームウェア情報・MAC アドレス・ハードディスク情報
	ユーザー管理	パスワードとユーザー管理
	言語設定	メニューを表示する言語を設定
	システムメンテナンス	初期化設定・再起動設定・HDD 電源オフ

## ①時間設定


日時の設定をします。

システム設定画面で『時間設定 』を選択すると、時間設定画面が表示されます。



日付	現在の日付を入力します。
日付表示方式	日付の表示方式を選択します。 【YY/MM/DD(年/月/日)】【MM/DD/YY(月/日/年)】【DD/MM/YY(日/月/年)】
時間設置	時刻の表示方法を選択します。【24 時間表示】または【12 時間表示】
タイムゾーン	日本では【GMT+09:00】を選択します。
NTP	NTP サーバーとリンクさせる場合は【オン】に設定します。
再起動設定	NTP サーバーとリンクする間隔を設定します。 【毎日】または【毎週】を選択して、リンクする時間を入力します。
NTP サーバー	時刻をリンクさせるサーバーのアドレスを入力します。
現在時刻	現在の時刻を入力します。


入力が終わったら、『設定保存』を選択します。

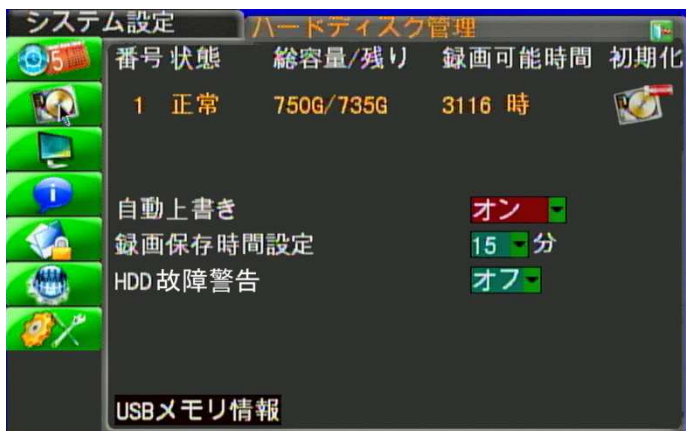
設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

※NTP サーバーへのリンクには、インターネット接続が必要です。


## ②ハードディスク管理

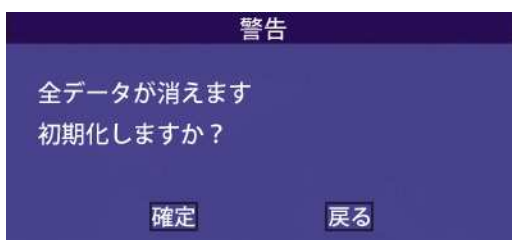
ハードディスク・USB メモリの設定をします。

システム設定画面で『ハードディスク管理 』を選択すると、ハードディスク管理画面が表示されます。



### ■ハードディスクの初期化■

ハードディスクを初期化する場合は、画面右上の初期化マークを選択します。警告画面が表示されますので、『確定』を選択します。



“初期化成功”の表示が出ますので、再度『確定』を選択し、初期化終了です。

### ■自動上書き■

【オン】を選択すると、ハードディスクの容量が録画データでいっぱいになった時に古い録画データから消去します。

【6時間/12時間/24時間/36時間/48時間/72時間/7日間/15日間/30日間/60日間】を選択すると、設定後からの録画データを、選択した時間分のみ、保持して上書きします。

上書きしない場合は【オフ】を選択してください。ハードディスクの容量が録画データでいっぱいになった時に録画を停止します。

### ■録画保存時間設定■

連続録画での録画履歴の時間を【5/10/15/20/30/60】分より選択します。

60分を選択した場合は、1つの録画履歴が60分単位となります。

### ■HDD 故障警告■

ハードディスクに異常が発生した場合に画面上の境界線を赤く点滅させることができます。

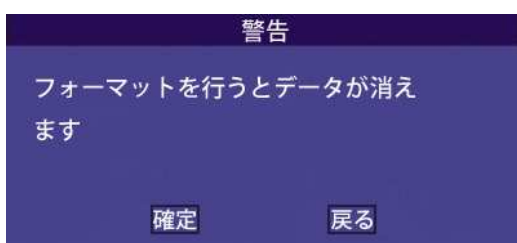
【オン】または、【オフ】で設定します。

### ■USBメモリーの初期化■


接続しているUSBメモリーを初期化する場合は、『USBメモリ情報』を選択し、USBメモリ情報画面を表示させます。



『USBメモリを初期化する?』を選択すると、警告画面が表示されますので、『確定』を選択します。




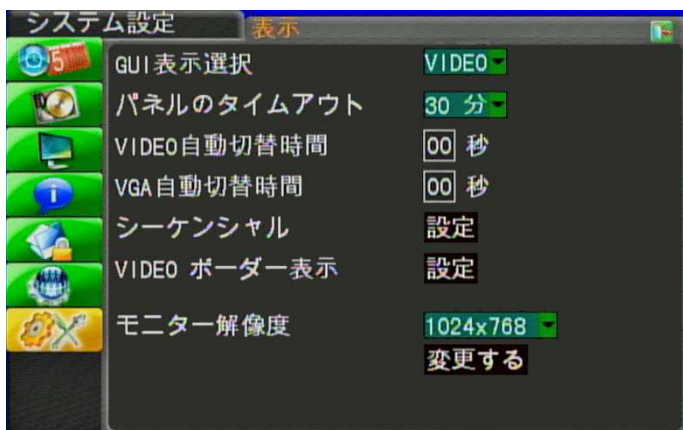
“初期化成功”の表示が出ますので、再度『確定』を選択し、初期化終了です。

初期化が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

### ③表示設定

画面表示の設定をします。

システム設定画面で『表示設定 』を選択すると、画面表示設定画面が表示されます。



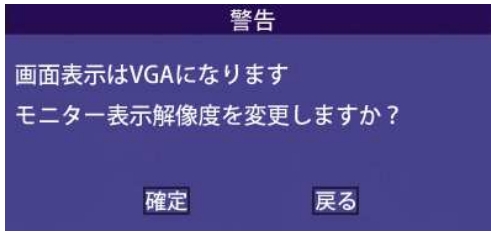
#### ■ GUI 表示選択 ■

メニュー画面を表示するモニターを切り替えます。

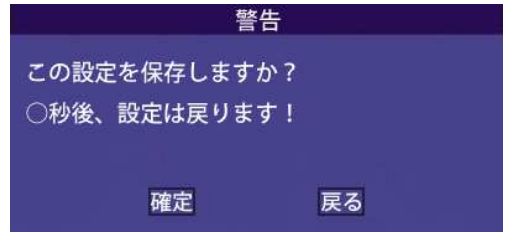
【VIDEO】を選択すると、映像出力端子 VIDEO OUT と接続しているモニターと内蔵モニターにメニュー画面を表示します。

【VGA】を選択すると、映像出力端子 XGA と接続しているモニターにメニュー画面を表示します。

警告画面が表示されますので、『確定』を選択して表示を切り替えます。



(VIDEO モニターの画面)



(VGA モニターの画面)

※電源起動時にモニターが自動認識されますが、認識されない場合は、メニュー画面が表示されませんので、リモコンの高速再生ボタンの2回早押しでもメニュー表示画面の強制切り替えが可能です。

### ■ パネルのタイムアウト ■

内蔵の3インチモニターの自動オフ時間をオフ/1分/2分/5分/10分/30分より設定します。無操作状態から設定した時間でモニターの表示がオフになります。マウスまたは、リモコンの操作をすると、モニターは自動でオンになります。

### ■ VIDEO 自動切替時間 ■

VIDEO モニターでの画面の自動切替え時間の間隔を1～99秒より設定します。画面の自動切替えをしない場合は、0秒に設定します。


### ■ VGA 自動切替時間 ■

VGA モニターでの画面の自動切替え時間の間隔を1～99秒より設定します。画面の自動切替えをしない場合は、0秒に設定します。

### ■ シーケンシャル ■

画面の自動切替えをする順番を変更します。『設定』を選択すると、シーケンシャル設定画面が表示されます。



自動切替えをする順番①～④にチャンネルを設定します。設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。


## ■ビデオボーダー表示■

画面表示サイズの調整をします。

『設定』を選択すると、ポーター設定画面が表示されます。



画面の境界線の位置を 0~36 より設定します。

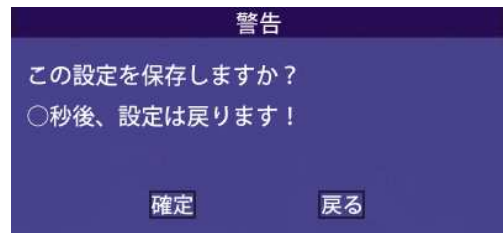
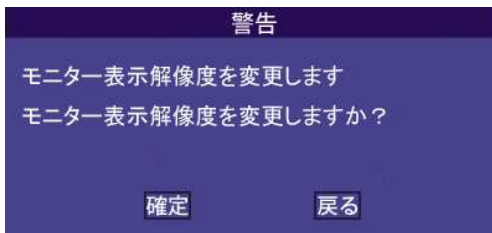
設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

## ■モニター解像度■

VGA モニター出力の解像度設定をします。


モニターの解像度を 800×600/1024×768/1280×1024/1440×900 より選択します。

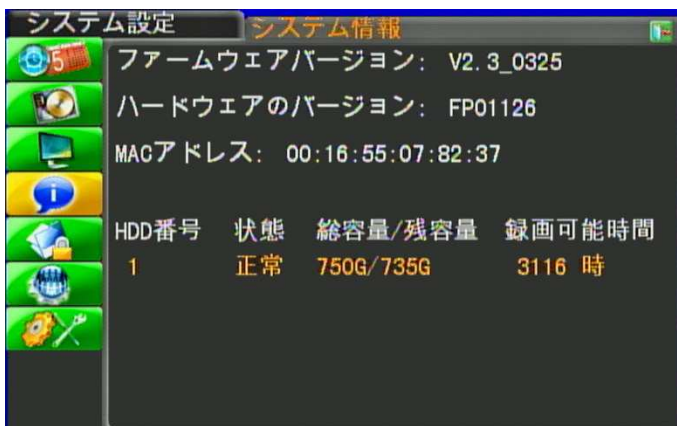
『変更する』を選択すると、警告画面が表示されますので、『確定』を選択して設定を切り替えます。



## ④システム情報


ファームウェア情報・ハードウェア情報・MAC アドレス・ハードディスク情報を表示します。

システム設定画面で『システム情報 』を選択すると、システム情報画面が表示されます。



## ⑤ユーザー管理

パスワードを登録してユーザー管理をします。

システム設定画面で『ユーザー管理 』を選択すると、ユーザー管理画面が表示されます。



パスワードを有効にする場合は、【オン】を選択します。

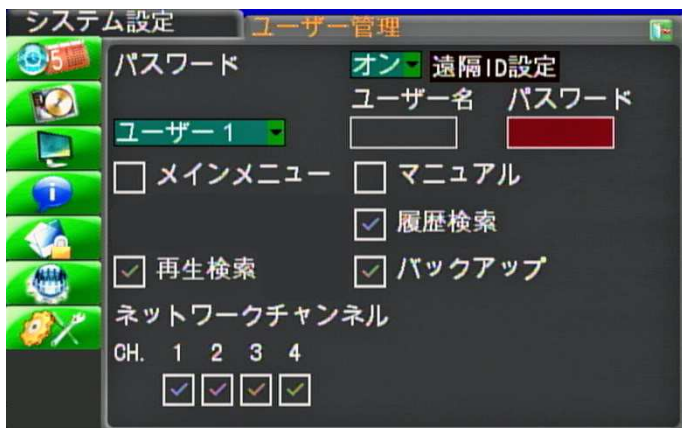
ユーザー名 (ID) とパスワードの設定をします。(初期設定 1111)

設定には、空白は使用しないでください。

また、パスワードについては、必ず 4 桁以上で設定してください。

管理者 ID とは、全ての操作が可能なメインユーザーです。

ユーザー 1～16 は、用途が限られたサブユーザーです。



サブユーザーごとにユーザー名・パスワード・用途を設定します。

チェック✓を入れた用途が有効となります。


### ■ 遠隔 ID 設定 ■

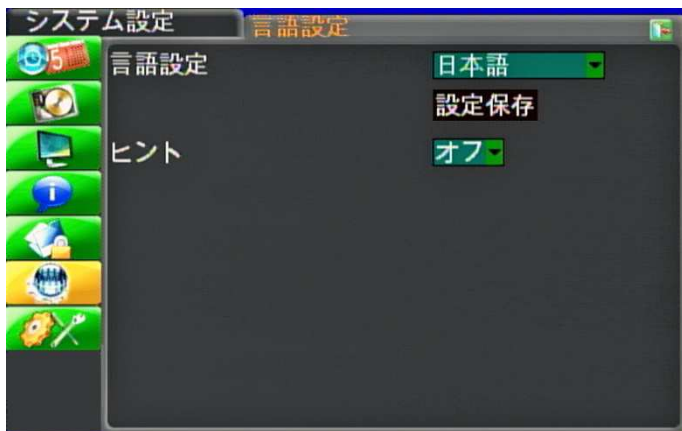
本機では、遠隔 ID の設定はできません。設定をすると、リモコンに誤動作が発生しますのでご注意ください。



## ⑥言語設定

メニュー画面を表示する言語を変更することができます。

システム設定画面で『言語設定 』を選択すると、言語設定画面が表示されます。



言語設定を 17ヶ国語より選択します。

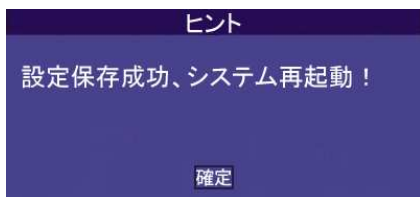
### 対応言語

中国語/ポルトガル語/ウクライナ語/日本語/イタリア語/チェック語/ハンガリー語/ポーランド語/ルーマニア語/ギリシャ語/スペイン語/ロシア語/リトアニア語/トルコ語/フランス語/ドイツ語/ブルガリア語

言語を設定したら、『設定保存』を選択します。

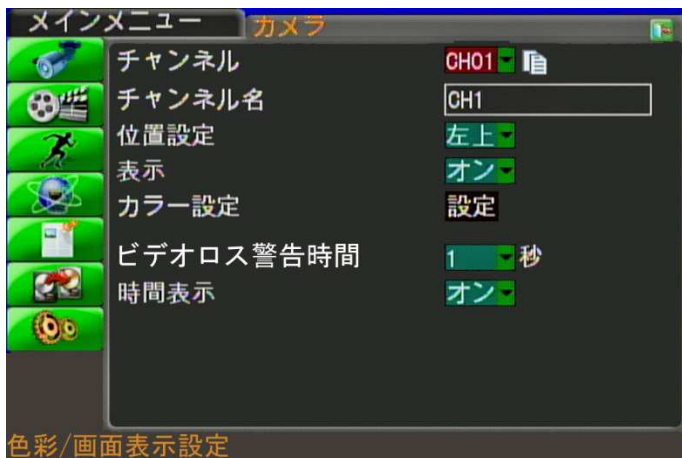
言語の設定を変更した場合は、システムの再起動が必要になります。


再起動確認の画面が表示されますので、『確定』を選択してシステムの再起動をします。



### ■ヒント■

【オン】に設定すると、メニュー画面左下にメニューの詳細説明が表示されます。

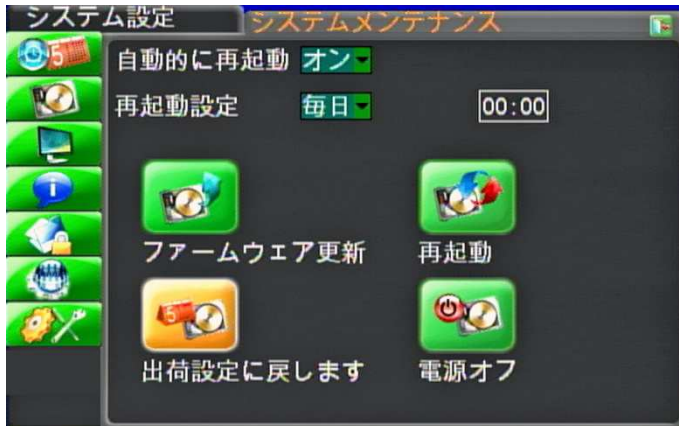


設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

## ⑦システムメンテナンス

システムの管理をします。

システム設定画面で『システムメンテナンス 』を選択すると、システムメンテナンス画面が表示されます。



### ■自動的に再起動■

自動再起動は、エラーなどを防ぐためのメンテナンス効果があります。

【オン】に設定して、自動再起動の間隔を設定します。

【毎日/毎週/毎月】から間隔を選択し、再起動する時刻を設定します。

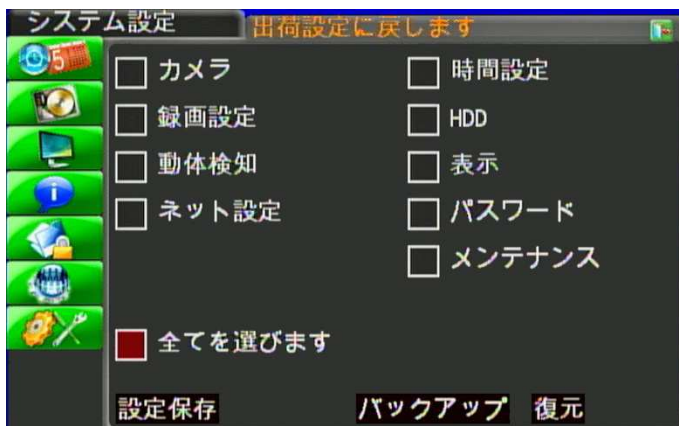
### ■ファームウェアの更新■

ファームウェアの更新をします。

### ■出荷設定に戻します■

設定したメニューの内容を初期化します。

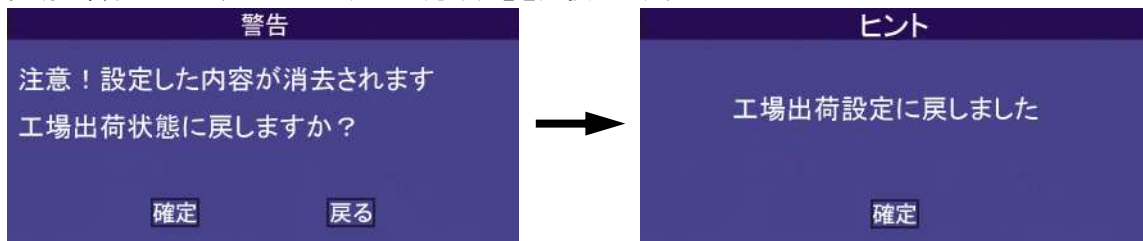
『出荷設定に戻します』を選択すると、出荷設定画面が表示されます。




初期化するメニューにチェック✓を入れて『設定保存』を選択します。



初期化警告画面が表示されますので、『確定』を選択します。

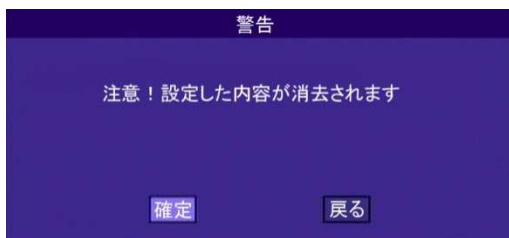


初期化が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

USB メモリーを使用して、メニュー設定の内容を保存・復元することができます。

『バックアップ』を選択すると、接続している USB メモリーに設定しているメニューの内容が保存されます。

『復元』を選択すると、警告画面が表示されます。



『確定』を選択すると、接続している USB メモリーに保存されているメニューの設定データが復元されます。

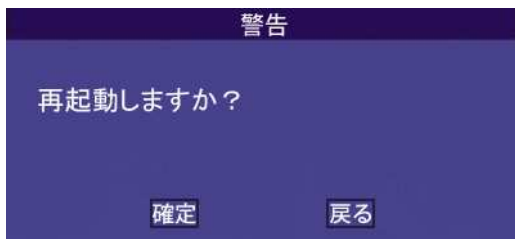
※メニュー設定の内容を保存・復元した場合は、電源を再起動してください。

USB メモリーに保存したデータのファイル名は変更しないでください。

### ■再起動■

システムの再起動をします。

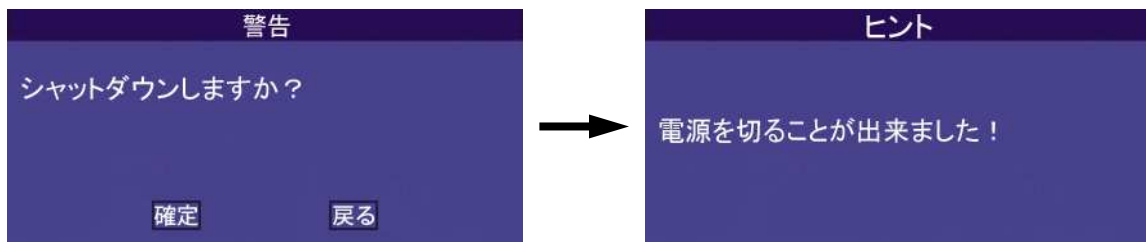
『再起動』を選択すると警告画面が表示され、『確定』を選択すると再起動を開始します。



### ■電源オフ■


本体の電源切る前にハードディスクの電源をオフにします。

『電源オフ』を選択すると、警告画面が表示されますので、『確定』を選択します。



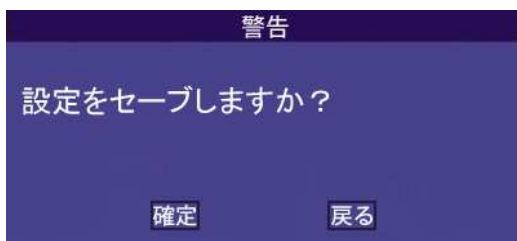
ハードディスクの電源がオフになると、全ての操作ができなくなりますので、電源の AC アダプターをコンセントより抜いて、本体の電源を切ってください。

※本体の電源を切る前にハードディスクの電源をオフにすることで、データの破損などを防ぐことができます。

操作が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

メインメニュー画面まで戻ったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックでメニューを終了させます。

メニュー終了前にメニュー設定セーブ(保存)画面が表示されます。



『確定』を選択すると、設定を保存してメニューを終了します。

『戻る』を選択すると、設定を保存しないでメニューを終了します。

メニュー設定変更後は、必ず設定セーブ画面にて設定を保存してメニューを終了してください。

## 5-8 クイックメニュー

マウスの右クリックまたは、メニューボタンを押すと、クイックメニューが表示されます。

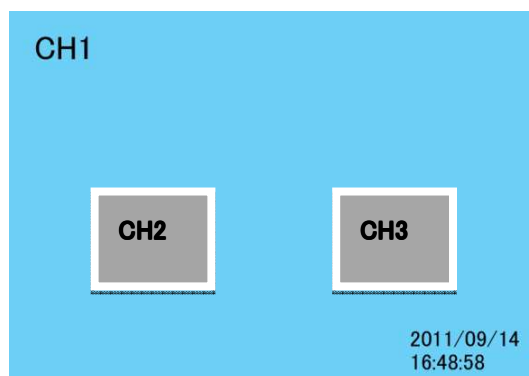
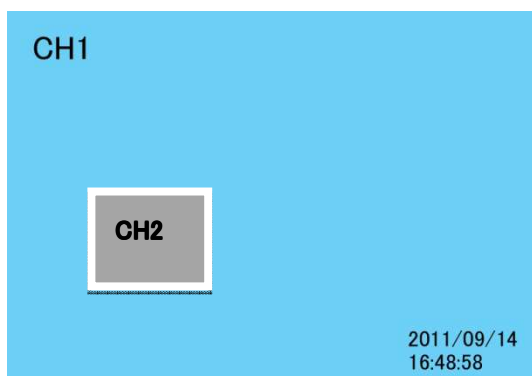


メインメニュー	メインメニュー画面を表示します。
遠隔操作オフ	※遠隔 ID 設定と連動する機能のため使用できません。
全てのチャンネル	全てのチャンネルを分割で表示します。
PIP 1	ピクチャーインピクチャー画面 1 を表示します。
PIP 2	ピクチャーインピクチャー画面 2 を表示します。
再生検索	履歴検索画面を表示します。
バックアップ	バックアップ画面を表示します。(18~20 ページ参照)
PTZ コントロール	PTZ カメラコントロールパネルを表示します。(PTZ カメラの全画面表示にて)
システム情報	システム情報画面を表示します。
手動録画	手動録画のオン/オフ(連続録画・スケジュール録画を設定していない場合)
CH 切替	画面自動切替えのオン/オフ
ズームイン	デジタルズーム画面を表示します。(各チャンネルの全画面表示にて)

クイックメニュー画面を終了する場合は、クイックメニュー画面の外側を左クリックまたは、メニューボタンを押します。

### ■ピクチャーインピクチャー画面■

『PIP 1』または『PIP 2』を選択すると、ピクチャーインピクチャー画面が表示されます。



PIP 1    PIP 2

表示するチャンネルの変更は、マウスの左クリックまたは、チャンネルボタン田田田で変更します。  
 PIP 画面の位置の移動は、PIP 画面の白枠の上部をマウスで左クリックしたまま移動させます。  
 メニューボタンまたは、マウスの右クリックで通常の分割画面に戻ります。

## ■再生検索■

『再生検索』を選択すると、履歴検索画面が表示されます。



画面の上部が時刻、右下側が日付(カレンダー)を表示しています。  
 カレンダーに表示されている録画履歴の日付が左側に表示されます。  
 録画スケジュールの色がそのまま表示されます。(赤:アラーム録画/緑:連続録画/無色:録画なし)  
 色の表示は、アラーム録画が優先されます。

チャンネル	再生・検索するチャンネルを『CH1』～『CH4』または『全部』より選択します。
録画方式	再生・検索する録画方式を『全部/通常/アラーム』より選択します。
日付	再生・検索する日付を入力します。(カレンダーが入力した日付に変わります。)
時間	入力した日付内で再生・検索する時刻を入力します。

『再生』を選択すると、選択したチャンネルの入力した日時録画データを再生を開始します。  
 チャンネルを『全部』に選択した場合は、チャンネル選択画面が表示されます。



再生させるチャンネルをチェック✓で選択します。

『再生』を選択すると、選択したチャンネルの入力した日時の録画データを再生します。



	リモコン操作	マウス操作
再生	▶	▶
高速再生 ×2/×4/×8/×16	▶▶	▶▶
逆再生 ×2/×4/×8/×16	◀◀	◀◀
スロー再生 1/2 1/4 1/8	▶	▶▶
一時停止・コマ送り		▶
停止	■	■

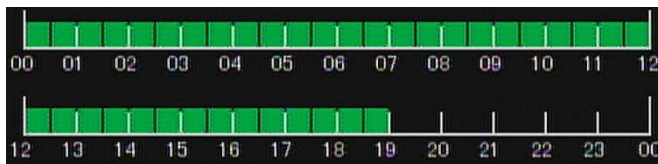
高速再生・逆再生・スロー再生は、操作を繰り返す度に再生速度が変わります。

履歴検索画面上部の時刻表からも録画データの再生が可能です。

画面右下側のカレンダー上の録画履歴(色で表示)を表示している日付を選択すると、時刻表に選択した日付の録画履歴(色で表示)が表示されます。



カレンダー



時刻表

時刻表上の録画履歴を選択すると、選択した日時の録画データが再生されます。

日付入力後または、カレンダーで日付を選択した後に『録画履歴』を選択すると、録画履歴が表示されます。



	録画履歴の最初のページを表示します。
	録画履歴の最後のページを表示します。
	前のページへ移動します。
	次のページへ移動します。
	全てのファイルの選択と解除
	指定したファイルをバックアップします。

表示した録画履歴から録画ファイルを選択すると、選択した録画ファイルの再生が可能です。  
バックアップの方法については、40～42 ページを参照してください。

操作が終わったら、画面右上の を選択または、ニューボタン、マウスの右クリックで戻ります。

### ■クイックメニューの終了■

クイックメニューを終了する場合は、マウスの左クリックまたは、メニューボタンを押します。

## 6 基本操作

### 6-1 全画面表示

本機に電源が入ると分割画面が表示されます。

1つのチャンネルだけを表示させる場合は、チャンネル1～4の各チャンネルボタンを押します。  
選択したチャンネルの映像が画面いっぱいに全画面表示されます。

分割画面に戻る場合は、分割ボタンを押します。

マウス操作の場合は、全画面表示させるチャンネルの画面上をダブルクリックします。  
分割画面に戻る場合は、画面上を再度ダブルクリックします。

### 6-2 録画

録画を開始する前にメニュー設定の録画設定をしてください。(10～13ページ参照)

録画には3つの録画モードがあります。

#### ①手動録画

録画設定の録画モードを『スケジュール録画』に設定し、スケジュール録画の録画モード設定を『録画しない』に設定してください。(13ページ参照)

録画ボタンを押すと録画を開始します。

マウス操作の場合は、クイックメニューの『手動録画 オン』を選択します。

録画を開始すると、画面左上に録画中の●マークが表示されます。

録画を停止させる場合は、停止ボタン■を押します。

マウス操作で録画を停止させる場合は、クイックメニューの『手動録画 オフ』を選択します。

#### ②連続録画

録画設定の録画モードを『連続録画』に設定してください。(13ページ参照)

録画モードを『連続録画』に設定すると、自動的に連続録画が開始されます。

録画を開始すると、画面左上に録画中の●マークが表示されます。

連続録画設定時は録画の停止ができません。

連続録画を停止させる場合は、スケジュール録画の録画モード設定を『録画しない』に設定してください。

#### ③アラーム録画(動体検知録画)

動体検知録画は、画面上に動きがあった時だけ録画する機能です。

無駄が無く、ハードディスクの使用量の節約ができます。

動体検知録画は、動体を検知してから10～60秒の間で設定した時間だけ録画した後に録画を停止して録画待機状態になります。

動体を検知し続けている場合は、検知反応が無くなるまで連続で録画をします。

メインメニュー設定の動体検知設定をします。(14ページ参照)

次に、録画設定の録画モードを『スケジュール録画』に設定し、スケジュール録画の録画モード設定を『アラーム録画』に設定してください。(13ページ参照)

録画モードを『アラーム録画』に設定すると、自動的に動体検知録画待機状態になります。

動体を検知すると録画が開始され、動体を検知したチャンネルの画面左上に動体検知マーク“M”と録画



中の●マークが表示されます。

動体検知録画設定時は録画の停止ができません。

動体検知録画を停止させる場合は、スケジュール録画の録画モード設定を『録画しない』に設定してください。

#### ◆動体検知録画に関する注意◆

動体検知は、人感センサーとは異なり、動きの大きさ・速さ・撮影場所の明るさの変化など、様々な条件により起動にばらつきがあります。遅い動きには反応し難く、暗くなると感度が下がったりします。

撮影状態に合わせた感度設定をしてください。感度は、高めに設定することをお勧めします。

確実な記録を残したい場合は、動体検知録画はお勧めできません。連続録画で録画してください。

暗所の撮影は動体を検知し難いため、夜間撮影での設定はお控えください。

**注意:**録画中に停電などで電源がオフになった場合は、再び電源が入ると元の録画状態に戻ります。

但し、手動録画は、録画状態に戻りませんので、連続録画またはアラーム録画を選択してください。

## 6-3 再生

クイックメニューより『再生検索』を選択するか、再生ボタンを押すと、履歴検索画面が表示されます。



画面の上部が時間、右下側が日付(カレンダー)を表示しています。

カレンダーに表示されている録画履歴の日付が左側に表示されます。

録画スケジュールの色がそのまま表示されます。(赤:アラーム録画/緑:連続録画/無色:録画なし)

色の表示は、アラーム録画が優先されます。

チャンネル	再生・検索するチャンネルを『CH1』～『CH4』または『全部』より選択します。
録画方式	再生・検索する録画方式を『全部/通常/アラーム』より選択します。
日付	再生・検索する日付を入力します。(カレンダーが入力した日付に変わります。)
時間	入力した日付内で再生・検索する時刻を入力します。

『再生』を選択すると、選択したチャンネルの入力した日時の録画データを再生を開始します。

チャンネルを『全部』に選択した場合は、チャンネル選択画面が表示されます。





再生させるチャンネルをチェック✓で選択します。

『再生』を選択すると、選択したチャンネルの入力した日時の録画データを再生します。



	リモコン操作	マウス操作
再生	▶	▶
高速再生 ×2/×4/×8/×16	▶▶	▶▶
逆再生 ×2/×4/×8/×16	◀◀	◀◀
スロー再生 1/2 1/4 1/8	▶	▶▶
一時停止・コマ送り		▶
停止	■	■

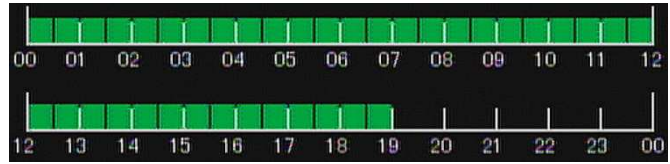
高速再生・逆再生・スロー再生は、操作を繰り返す度に再生速度が変わります。

履歴検索画面上部の時間表からも録画データの再生が可能です。

画面右下側のカレンダー上の録画履歴(色で表示)を表示している日付を選択すると、時間表に選択した日付の録画履歴(色で表示)が表示されます。



カレンダー



時間表

時間表上の録画履歴を選択すると、選択した日時の録画データが再生されます。

#### ■全画面再生■

各チャンネルの画像を画面いっぱいに表示して再生することができます。

再生中にチャンネルの画面上をマウスでダブルクリックまたは、各チャンネルボタンを押します。

選択したチャンネルの映像が画面全体に表示されます。

4分割画面表示に戻す場合は、画面上をマウスで再度ダブルクリックするか、リモコンの分割表示ボタンを押します。

#### 6-4 画面自動切替え(シーケンシャル)機能

各チャンネルを全画面で自動的に切替え表示します。

システム設定の表示設定画面で、『自動切替時間』を1~99秒の間で設定し、『シーケンシャル』で自動切替えの順番を設定します。(24ページ参照)

クイックメニューの『CH切替 オン』を選択します。

設定した時間で画面の自動切替えを開始します。

自動切替えを停止させる場合は、クイックメニューの『CH切替 オフ』を選択します。

#### 6-5 デジタルズーム機能

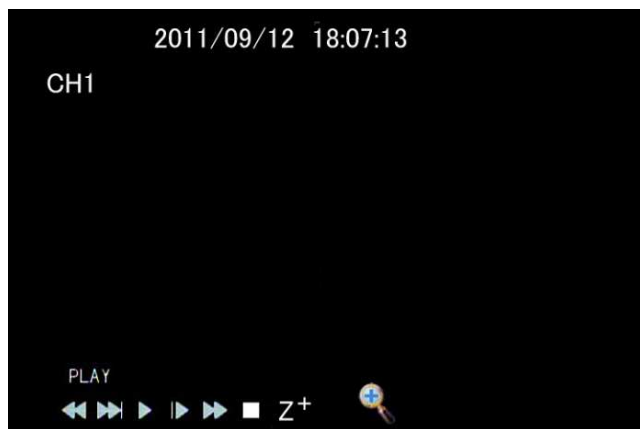
分割画面からデジタルズームをする場合は、チャンネルを選択して全画面表示にし、クイックメニューの『ズームイン』を選択します。

デジタルズーム画面に切り替わりますので、拡大させる範囲をマウスで左クリックしたまま選択します。



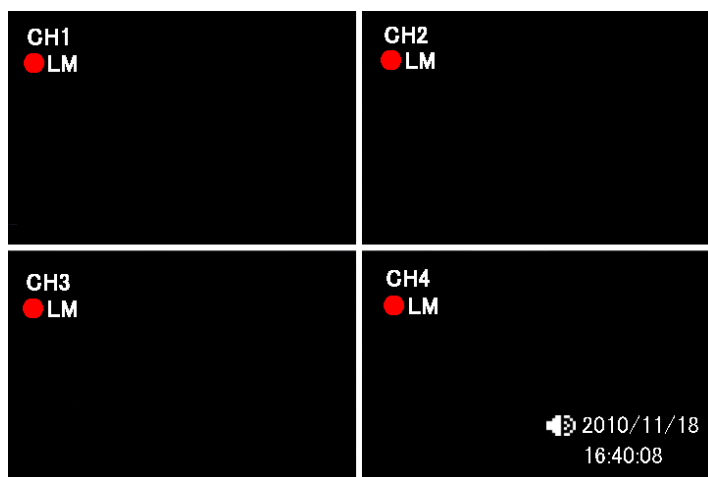
拡大された画面が表示され、画面右下に全体の映像が表示されます。  
 拡大画面を終了する場合は、画面上を右クリックします。

再生画面でデジタルズームをする場合もチャンネルを選択して全画面表示にします。  
 全画面表示になると、画面の下側にデジタルズームのアイコン“Z+”が表示されますので、マウスの左クリックで選択します。



デジタルズーム画面に切り替わりますので、拡大させる範囲をマウスで左クリックしたまま選択します。

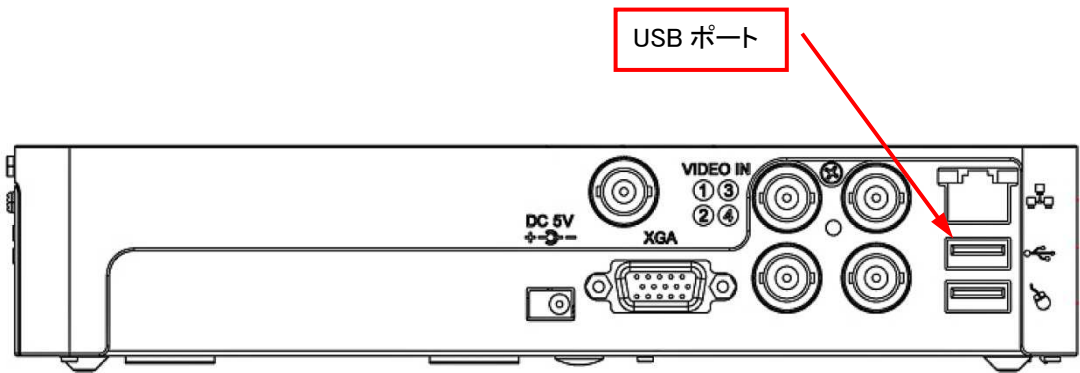
## 7 画面表示の説明



●	録画状態 赤: 連続・スケジュール録画 オレンジ: 手動録画
L	映像信号入力なし
M	動体検知状態

## 8 録画データのバックアップ(保存)

USB ポートを使用し、録画データを USB メモリーにバックアップすることができます。  
本体前面の USB ポートに USB メモリーを接続します。



クイックメニューの『バックアップ』または、メインメニュー画面で『バックアップ』を選択すると、バックアップ画面が表示されます。



チャンネル	録画履歴を表示させるチャンネルを選択します。
録画方式	録画履歴を表示させる録画方式を【全部/通常/アラーム】より選択します。
開始日	録画履歴を表示させる開始日を入力します。
開始時間	録画履歴を表示させる開始日の開始時刻を入力します。
終了日	録画履歴を表示させる終了日を入力します。
終了時間	録画履歴を表示させる終了日の終了時刻を入力します。

※開始日から終了日の期間を 7 日以内で設定してください。

『履歴検索』を選択すると、録画履歴が表示されます。

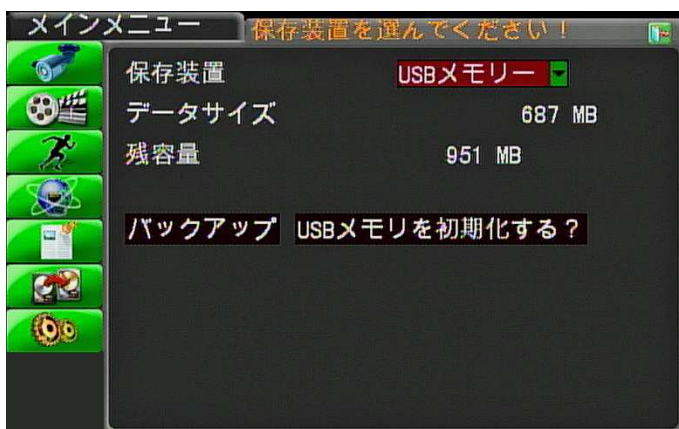


	録画履歴の最初のページを表示します。
	録画履歴の最後のページを表示します。
	前のページへ移動します。
	次のページへ移動します。
	全てのファイルの選択と解除
	指定したファイルをバックアップします。

最初にバックアップする録画ファイルの BAK の口にチェック✓を入れます。

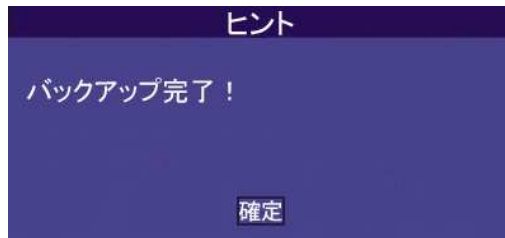
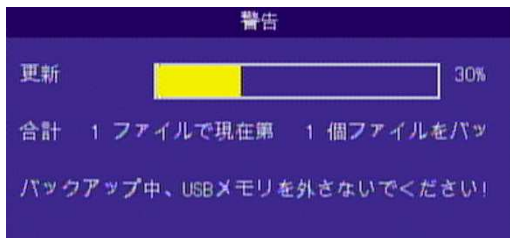
を選択すると、全ての録画ファイルにチェック✓が入ります。

を選択すると、バックアップ開始画面が表示されます。



保存装置	保存先を USB メモリーに設定 (DVD-RW には非対応)
データサイズ	保存する録画データの容量を表示
残容量	保存先の保存可能な残容量を表示

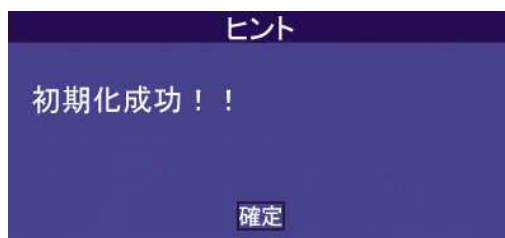
『バックアップ』を選択すると、録画データの保存を開始します。




バックアップが完了したら、『確定』を選択します。

USB メモリーを初期化して使用する場合は、『USB メモリーを初期化する?』を選択します。

警告画面が表示されますので、『確定』を選択します。



全ての設定が終わったら、画面右上の  を選択または、メニューボタン、マウスの右クリックで戻り、メニューを終了させます。

※USB メモリーは、ご使用前にパソコンにて FAT32 でフォーマットしてください。

※バックアップ中は、USB メモリーを外さないでください。

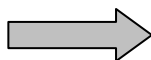
※USB メモリーを接続しないままバックアップしようとするとう“保存装置が見つかりません!!”と表示されます。

## 9 パソコンでの録画データの再生

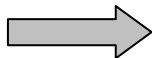
### 9-1 ソフトウェアのインストールとUSBメモリーの接続

専用ソフトウェアをインストールすることによって、USB メモリーにバックアップした録画データをパソコンで再生または、保存することができます。

ソフトウェア“H.264 HDPlayer”は、録画データバックアップ時に USB メモリーへインポートされますので、USB メモリーをパソコンの USB ポートへ接続し、“H.264 HDPlayer”をインストールします。







パソコンのデスクトップにショートカット  
が作られます。



H264HDPlayer

デスクトップ上の“H264 HDPlayer”をクリックしてソフトウェアを起動させます。



## 9-2 ソフトウェアの操作



ビデオサーチャバー		クリックしたまま横へスライドさせると再生時刻が移動
ファイル選択		再生する録画データファイルを選択
ディスク選択		再生するハードディスクを選択(非対応)
再生		通常速度の再生
一時停止		再生の一時停止
停止		再生の停止
スロー再生		再生速度をスローに切り替え (1/2・1/4・1/8・1/16)
高速再生		再生速度を高速に切替え (2・4・8・16・32 倍速)
逆コマ送り再生		クリックする度に1コマずつ逆再生
コマ送り再生		クリックする度に1コマずつ再生
スナップショット		jpg ファイル形式で静止画を保存
開始時間表記		バックアップ開始時刻設定
終了時間表記		バックアップ終了時刻設定
バックアップ		バックアップ開始時間から終了時間までを切り取って保存
1画面表示		1画面を拡大して表示
4画面表示		4分割画面を表示
8画面表示		8分割画面を表示
音声		音声のオン/オフ

## ■ビューワメニュー■

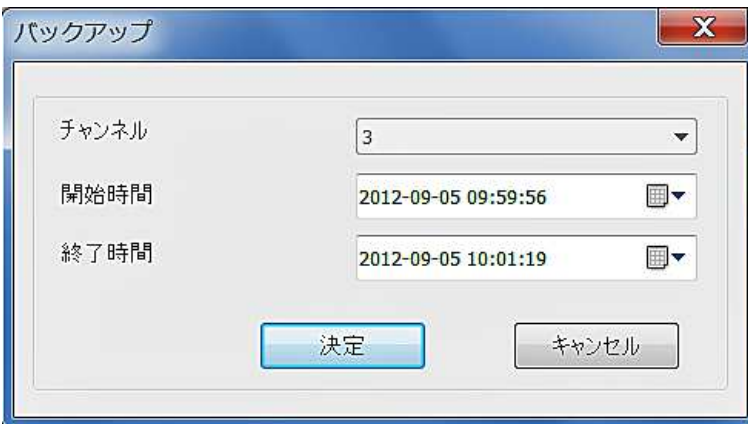
画面上でマウスを右クリックするとビューワメニューが表示されます。



ハードディスクを開きます	再生するハードディスクを選択します。(非対応)
バックアップ	録画データをパソコン内のフォルダーに保存します。
AVI ファイル変換	録画データを AVI ファイルに変換します。
トップディスプレイ	ソフトウェアの画面を常に手前に表示します。
設定	データの保存と画面表示についての設定をします。
H.264 HD Player について	H.264 HD Player のバージョン情報を表示します。
終了	H.264 HD Player を終了します。

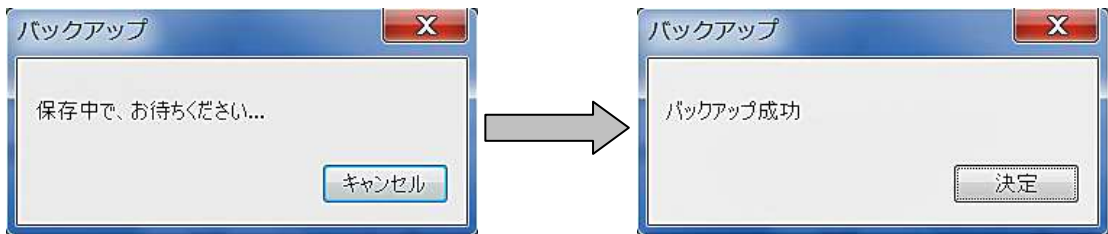
## ◆バックアップ◆

録画データ再生中に『バックアップ』を選択すると、バックアップ画面が表示されます。



チャンネル	録画データのチャンネルを表示しています。
開始時間	保存する録画データの開始時間を入力します。
終了時間	保存する録画データの終了時間を入力します。

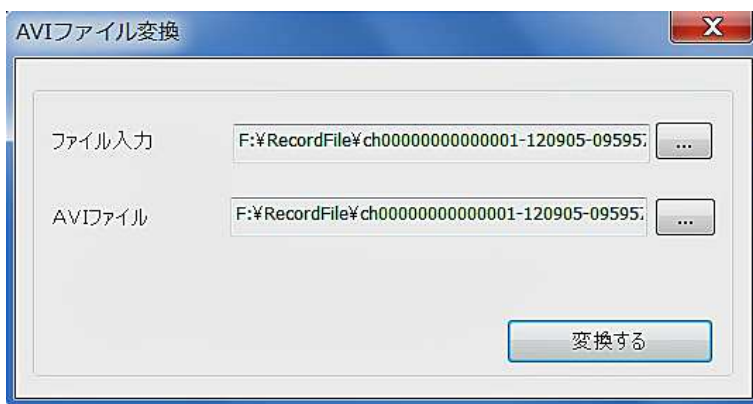
『決定』を選択すると、開始時間から終了時間までの録画データが保存されます。



『決定』を選択して、バックアップ終了です。

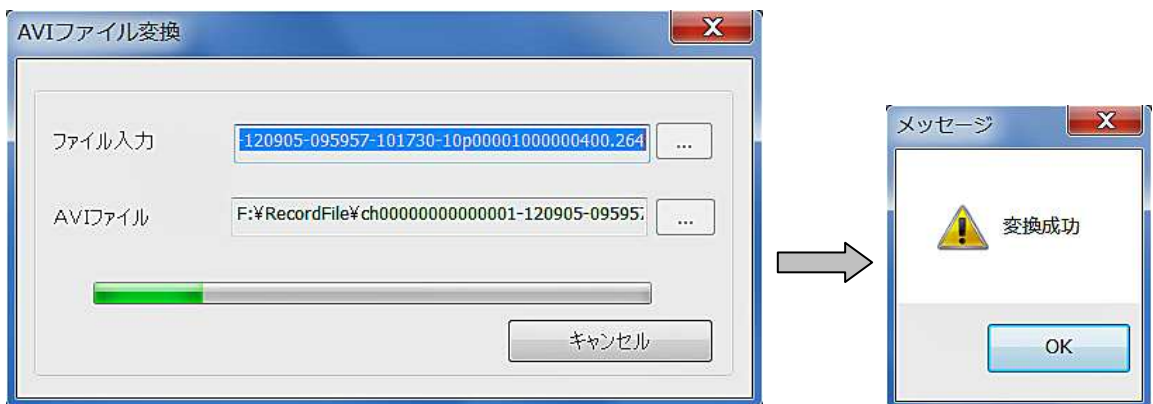
#### ◆AVI ファイル変換◆

『AVI ファイル変換』を選択すると、AVI ファイル変換画面が表示されます。



ファイル入力	AVI 変換させる録画データを選択します。
AVI ファイル	AVI 変換後の録画データの保存先を設定します。

『変換する』を選択すると、AVI 変換を開始します。



変換が終わると“変換成功”と表示されますので、『OK』を選択して AVI 変換終了です。

## ◆設定◆

『設定』を選択すると、設定画面が表示されます。



静止画の保存先	『開く』を選択して静止画データの保存先を設定します。
ファイルの保存先	『開く』を選択して録画データの保存先を設定します。
ファイル保存形式	保存する録画データ形式を【264 ファイル】または、【AVI ファイル】より選択します。
言語選択	表示言語を 16ヶ国語より選択します。
透かし	【開き】を選択すると、ウォーターマークが録画データに表示されます。
デフォルト画面	ソフトウェア起動時の画面設定をします。(本機では設定の必要はありません)

※ウォーターマークの設定方法については、10 ページを参照してください。

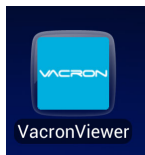
『決定』を選択して設定終了です。

※付属のソフトウェアを使用したことにより、パソコンなどに不具合が生じた場合でも弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。  
また、全てのパソコンでの動作保証をするものではありません。

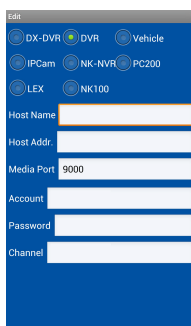
## 10 スマートフォン監視

iPhoneやAndroidの携帯で監視する場合  
ネットワークの設定が完了している事が前提になります  
固定IPの設定やポート解放設定が完了してからの作業になります

iPhoneやAndroidの携帯でレコーダーの映像を見ることができます  
AppStoreやPLAYからVacronViewer(アプリ)をダウンロードしてください



ダウンロード後 DeviceListを選択しAddからレコーダーの登録をしてください



レコーダーのタイプをDVRに選択してください

HostNameに任意で名前を入力してください

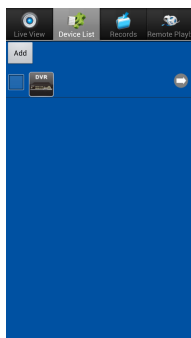
HostAddrにIPアドレスを入力してください

MediaPortに9000(初期設定)を入力してください

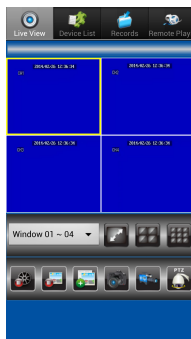
Accountにユーザー名(初期設定 無)を入力してください

Passwordにパスワード(初期設定 無)を入力してください

Channelに4を入力してください



入力ができたらDeviceListに表示される レコーダー名を  
タップしてください



画面に映像が出れば完了です



## 11 録画時間の目安表

### ◆4 チャンネル全て同じ設定の場合◆

録画解像度	フレームレート fps	画質 5	画質 4	画質 3	画質 2	画質 1
最高 (720 × 480)	15	316	394	471	592	782
	10	381	474	564	711	934
	5	477	594	702	891	1159
	2	564	700	825	1050	1357
高 (720 × 240)	30	262	236	393	525	788
	25	303	363	456	606	911
	20	360	431	540	715	1082
	15	442	528	664	874	1327
	10	574	681	864	1123	1725
	5	820	960	1230	1576	2461
	2	1099	1273	1626	2070	3282
標準 (360 × 240)	30	393	450	525	787	1050
	25	456	517	604	910	1204
	20	540	612	715	1081	1410
	15	664	474	874	1327	1702
	10	864	958	1123	1725	2146
	5	1230	1332	1576	2461	2904
	2	1647	1747	2070	3282	3703

単位：時間

※目安表の録画時間はあくまでも目安ですので誤差がある場合があります。

動きの多い映像や色の種類が多い映像の録画等、映像の状態により録画時間が極端に短くなる場合があります。

## 12 製品仕様

LCD	3 インチ TFT (モニター搭載モデルのみ)
映像信号	NTSC
映像圧縮方式	H.264
映像入力	4 チャンネル BNC.J 端子
映像出力	2CH BNC.J/XGA 端子
XGA 出力	800×600/1024×768/1280×1024/1440×900
画面表示	分割表示/スイッチャー機能/各カメラ全画面表示/PIP 表示
再生速度	1・2・4・8・16・32 倍速再生/逆再生 1/2・1/4・1/8 スロー再生
画面解像度	720×480
録画解像度	最高 720×480/高 720×240/標準 320×240
録画フレーム数	合計 60fp(解像度 720×480) 合計 120fps(解像度 720×240/320×240)
録画画質	5 段階
動体検知機能	10 段階から感度調整(各チャンネルで感度調整可能)
表示言語	17ヶ国対応
ネットワークプロトコル	TCP IP/PPP <sub>oE</sub> /DHCP/SMTP/DDNS
ネットワークコントロール	IE ブラウザー
内蔵ハードディスク	2.5インチ SATA×1
バックアップ	USB2.0 フラッシュメモリー (FAT32) Transcend 4~32GB/Adata 1~32GB Kingston 4~16GB/SanDisk 4~32GB ※メモリー以外の機能が付随しているものは使用できない場合あり
推奨パソコンスペック	OS Windows XP SP2 以降/CPU 2.4GHz 以上/メモリー512GB 以上 Video card: Nvidia Geforce 4 series or above/USB2.0
その他の機能	アラーム時境界線点滅/色調・輝度・コントラスト・彩度調整
電源	DC5V2A
消費電力	最大 10W
動作温度	0~40℃
外形寸法	幅 216×高さ 46×奥行 100mm
重量	約 500g

※このデジタル HDD レコーダーは、映像を記録するためのもので、盗難防止装置ではありません。  
万一発生した事故損害等については、責任を負いかねますのでご了承ください。